



相馬市

農業委員会だより



写真：石上地区のセリの収穫の様子

年頭のご挨拶



相馬市農業委員会
会長 前川 正人

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
皆様方には、日頃から当委員会の活動にご理解とご支援ご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。

さて、本市の農業を取り巻く状況は、農業従事者の高齢化や担い手不足、遊休農地の拡大、有害鳥獣による被害等多くの課題を抱えております。

更には、ロシアによるウクライナ侵攻や急激な円安により、肥料等の農業用資材や飼料、燃油等が高騰しており、農業経営はさらに厳しい状況となっております。

私ども農業委員会は、農業者の代表として自覚をもって課題解決に向けて取り組むとともに、関係機関と連携し、農地利用最適化を推進するため、利用調整活動による農地の集積・集約化や、農地パトロールの強化による遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進に努めてまいります。

結びに、皆様のご健康と益々のご活躍を祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。



写真：(右上) オープニングセレモニーの際のテープカットの様子 (左上・右下) 開店直後の店内の様子

新鮮な 地場産品が充実!

道の駅そうま物産館は、10月20日、地域の活性化と産業振興の拠点としてリニューアルオープンしました。

この施設は、老朽化や地震の影響で一時休館していましたが、改装工事を経て新たにオープンしました。

写真は、開店前のオープンングセレモニーと開店後の店内の様子です。

店内には、野菜や果物などの、新鮮な地場産品がずらりと並んでいました。また、加工品やお土産なども販売しており、観光でお越しの方はもちろん、市民の方の普段のお買い物にも利用できます。

『道の駅そうま物産館』を楽しんだ後は、『磯部水産加工施設』や『浜の駅松川浦』を巡ってみるのも楽しいですね!

どだれ 土垂、たくさん獲れたよ!

飯豊小学校の3年生の児童は、11月2日、相馬土垂(どだれ)の収穫を行いました。「相馬土垂」とは、サトイモの在来種で相馬地方で栽培されていた伝統野菜です。

6月に植え付けを行った土垂は立派に成長し、茎はこども達の背丈ほどに成長しました。

収穫は「ふくしま食育実践サポーター活動」のサポーターである大野村農園の菊地将兵衛さんの説明を受けて行われました。

サトイモには「親芋・子芋・孫芋があること」「スコップを入れる時は根元から少し離れた所に入れること」などを教わりながら収穫しました。収穫した土垂は、給食のメイン食材として『いも煮』や『カレー』に使われました。

子どもたちは、植え付けから収穫して食べるまでの一連の活動を通して、相馬の食文化とその継承に関心を深めました。



子どもたちの感想

- ・芋がたくさんついている!
- ・お味噌汁で食べたい
- ・重かった!



写真：(右上・下) 収穫の様子 (左上) 菊地さんから説明を受ける児童の様子

合同会社 和田いちごファーム

福島県農業賞 復興・創生特別賞受賞

県内の農業分野で最も権威のある第63回県農業賞の表彰式は9月2日、福島市の杉妻会館で行われ、和田いちごファーム代表の山中賢一郎氏らが出席しました。同月5日には、受賞報告のため社員5人が市長室を訪れました。

受賞報告後、「いちごファーム」の皆さんにお話をお伺いしました。権威のある農業賞受賞についてお気持ちちは？

農業者としてこの賞を受賞できたことは、大変うれしく思います。また、ご協力いただいたすべての皆様感謝いたします。

度重なる災害を乗り越えて来たことについて思うことは？

東日本大震災や、その後の度重なる地震や水害があるたびにいちごハウスに何かしらの被害があり、大変な思いをしながら復興に取り組んできました。昨年の3月の地震でも、施設が大きな被害を受けました。ファームの仲間や多くのボランティアの方々のおかげで、ここまで来れたと思います。

ファームの仲間に対して思うことは？

仲間意識や助け合いの気持ちが強くと、仲間がいたことで災害から立ち直って来ることが出来ました。何かあった時に助け合える仲間がいることはとても心強く思っています。

好きな言葉は？という問いに「仲間です。」と答えてくれた山中代表。他の4人も大きく頷きました。仲間同士互いに信頼し、常に感謝の気持ちを持って活動しているということが伝わってきました。これからいちご狩りのシーズン到来です。和田の美味しいいちごをたくさん届けてほしいと思います！



▲左から山中代表、県知事、岩本さん



▲左から岩本さん、鈴木さん、市長、山中代表、齋川さん、阿部さん

合同会社 飯豊ファーム

全国優良経営体表彰 経営改善部門・会長賞

経営改善などに取り組む農業者をたたえる令和4年度全国優良経営体表彰式は、10月20日、福井県で行われ、飯豊ファーム代表の竹澤一敏氏らが出席しました。11月21日には、受賞報告のため社員3人が市長室を訪れました。

受賞報告後、「飯豊ファーム」の皆さんにお話をお伺いしました。ファームを立ち上げる際に力を入れたことは？

東日本大震災で、津波による塩害を受けた農地や農業機械を失った方の農地など、地域の被災農地を中心に耕そうと力を入れてきました。

今まで大変だったことは？

経営マニュアルを作ることが大変な作業でした。10町歩のマニュアルはありましたが、自分たちが経営をする100町歩のマニュアルがありませんでした。農地の面積や機械の性能、作物の育ち具合、気候等に合ったマニュアルの作成には数年かかっ

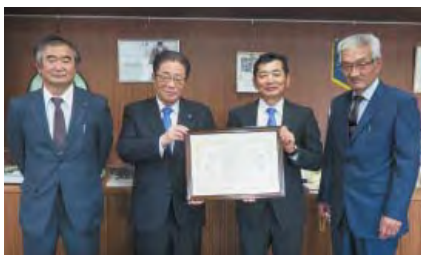
これからの課題は？

今の若い人たちにどう受け継いでいくのが課題です。飯豊ファームでは、週休2日制を導入するなど、雇用形態を整えています。今後は、次世代へのバトンタッチをいかにスムーズにできるかを考えていきたいです。

「公益財団法人ヤマト福祉財団」などからの支援や市の協力を受けた事に感謝を忘れず活動しているというみなさん。これからも地域農業の発展に向けてがんばっていただきたいと思います。



▲左から國井大会副会長、竹澤代表



▲左から小島さん、市長、竹澤代表、小野内さん

令和 4 年度 農地等利用最適化推進施策に関する意見書の提出

令和 4 年 11 月 15 日、農業委員会は農地等利用最適化推進施策に関する意見書を市に提出しました。

意見書には、本市の農業を取り巻く緊急の課題である以下の 5 項目が盛り込まれ、安定的な農業経営の実現と更なる農地等の利用最適化推進に向けた施策の改善を提案しました。



写真：意見書を手渡す前川会長（左から佐藤委員、前川会長、市長、目黒委員、丹野委員）

※詳しくは、こちらのQRコードからご覧いただけます →



意見書の概要

1. 米価下落及び農業用資材等高騰に対する支援策について
 - ・米価下落に対する支援策
 - ・物価高騰に対する支援策
2. 有害鳥獣被害対策について
 - ・ワイヤーメッシュ（金網）柵による被害防止対策
 - ・箱ワナの拡充及び鳥獣被害対策実施隊の体制強化
3. 新規参入者に対する支援、担い手の育成・確保策について
 - ・新規就農者に対する複合支援策
 - ・多様な担い手に対する支援策
 - ・農業法人の積極的な誘致
4. 6次産業化の推進と地産地消の取り組みについて
 - ・6次産業化の推進と農業者組織等への支援
 - ・地元農畜産物を活用した地産地消の推進
5. みどりの食料システム戦略の推進について
 - ・みどりの食料システム戦略推進のための環境づくり



写真：来場者からの相談を受ける荒委員（左）

去る 11 月 13 日（日）、福島市において、ふくしま農業者フェア（新規就農相談会）が開催され、相馬市の出展に併せて、当農業委員会からも農地利用最適化推進委員の荒徳吉委員が参加し、新規就農を希望する来場者からの相談に当たりました。

今回の相談会は、農業への新規参入の促進や、農業従事者を確保するのが主な目的で、県北、相双地域の自治体や農業法人を中心に計 26 団体が出展。相馬市のブースには、4 名の方が相談に訪れ、相馬市の農業の特色や、主な栽培作物、研修先や就農に当たっての支援制度等についての説明を熱心に聞いていました。

新規就農相談会に参加しました

全国農業新聞 月 4 回 金曜日発行 月額 700 円

※詳細については農業委員会事務局にお問い合わせ下さい。 ☎ 0244-37-2190

新規就農のご相談は、そうま地区新規就農支援チームへ

そうま地区新規就農支援チームでは、『農業を始めたい』あなたを全力でサポートし、新規就農へ向けて一緒に考え、応援します。ぜひ一度ご相談ください。



◆相双農林事務所 農業振興普及部 ☎ 0244-26-1150
農業についての技術や経営に関する知識の習得支援、農業用機械の取得や生活支援に係る補助制度について

◆相馬市農業委員会 ☎ 0244-37-2190
農地の賃借、売買について

◆相馬市農林水産課 ☎ 0244-37-2147
青年等就農計画及び農業経営改善計画について

◆JAふくしま地区本部農業振興課 ☎ 0244-67-2702
種苗購入費補助、主食用米促進支援、農業法人設立支援、ハウス等資材費補助等について

農業委員会活動紹介 ～委員研修会編～

農業委員会は、8月29日と10月28日、市役所正庁で「農地利用最適化推進委員研修会」と「農業委員・農地利用最適化推進委員研修会」を開催しました。

近年、農業を取り巻く状況は、農業従事者の高齢化や担い手不足、遊休農地の拡大、有害鳥獣による被害等、様々な課題を抱えています。これらの課題解決に向け、以下のとおりの研修会を行いました。

そこで、この研修会がどのようなものだったのかをご紹介します。

◆農地利用最適化推進委員研修会

この研修会では、

『人・農地関連法の見直しについて』

『営農型太陽光発電について』

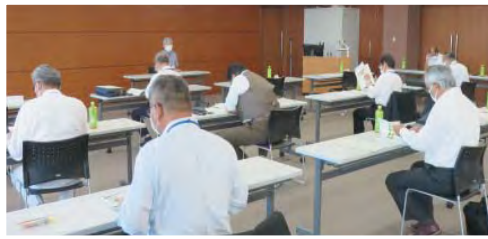
『活動記録簿の作成について』

の3項目について学びました。

委員らは、農地に関する主な法律や、近年増加傾向にある営農型発電の申請に対する判断基準などについて理解を深めました。

また、委員の活動を見える化するための「活動記録簿」の記入方法についても再確認しました。

この「活動記録簿」がどのようなものか、一部抜粋してご紹介します。



写真：研修の様子

農業委員会活動記録簿 (農業委員、 農地利用最適化推進委員)
【令和4年4月】 氏名: 相馬 太郎

区分	活動内容
活動日	4月9日 (0.5時間)
活動内容	◇◇さんから、高齢になったため、農地を誰かに貸したいとの相談を受けた。
相手方	◇◇氏
活動場所	自宅
活動日	4月12日 (1.4時間)
活動内容	令和4年4月の農業委員会総会に出席し、農地法関係について審議した。
相手方	農業委員会事務局
活動場所	市役所・〇〇地区 実施した。

▲活動記録簿の抜粋

活動記録簿は、戸別訪問や電話相談、就農相談などのほかに、何気ない日々での活動も記載しています。



◆農業委員・農地利用最適化推進委員研修会

この研修会では、

『農地転用許可に係る立地基準』

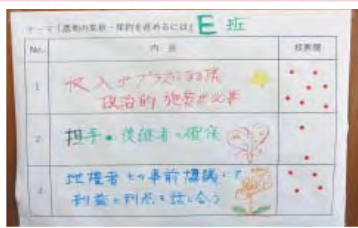
『集落における話し合いの進め方』

の2項目について学びました。

農地転用許可に係る立地基準とは、農地法に基づき公正に審査をするために必要な知識の一つです。研修会では、具体例を通して、農地の種類などを学び、判断基準の理解を深めました。

また、集落における話し合いの進め方については、「農地の集積・集約を進めるには」をテーマとして、ワークショップ形式で行いました。

農業委員・推進委員が、地域の話し合いなどへ参加する際に、中心となって地域の農家の意見の調整・進捗役割を担うために必要なスキルを学ぶ貴重な経験となりました。



写真(上)：意見をまとめた模造紙
写真(下)：研修の様子と意見発表の様子



農業委員会からのお知らせ

総会 日程	申請書 締切
2月10日	1月17日
3月13日	2月17日
4月12日(予定)	3月17日(予定)
5月12日(予定)	4月18日(予定)

日程は変更になる場合がありますので、ホームページ等であわせて確認下さい。

節税対策しながら 年金積立！

老後の備えは、 **積立年金**

国民年金+ **農業者年金**！

詳しくは・・・農業者年金基金 [検索](https://www.nounen.go.jp)
<https://www.nounen.go.jp>

※詳しい内容やご相談については、農業委員会か最寄りのJAまたは、農業者年金基金にお問い合わせください。

◆◆◆ 表紙のおはなし ◆◆◆

11月16日、石上地区にある遠藤明朗さんのセリ田を訪れました。

セリ田では、遠藤さんとご家族が午後の明るい日差しを浴びながら、セリの収穫をしていました。

水田を利用しているというセリ田の水深は30㍍程。その水は、地下水をポンプで引いたり、山からの水を引いています。

セリ田に大きな発泡スチロールの板を浮かべ、その上に収穫したセリを積んで作業していました。遠藤さんのセリの栽培歴は、約20年とのことで、セリを根から引き抜き、泥を落としながら引き上げる手さばきは見事な物でした。

近くの作業場では、出荷に向け、収穫したセリを束ねる作業をしていました。セリは、サラダにしたり鍋に入れたりするほか、根の天ぷらもおいしいそうです。

収穫は、今月いっぱい行われます。おいしいセリをたくさん届けてほしいと思います！



園芸 ミニ情報

サラダがおしゃれに♪

このコーナーでは、これからの季節に適した家庭菜園などの情報をお伝えします。野菜を育てることで、農業の楽しさを感じてみませんか？今回は、3月頃から播くことができるラディッシュについてのミニ情報です。ラディッシュは、約1ヶ月ほどで収穫できることから「二十日大根」という和名がつけられました。丸い形に真っ赤な色合いがかわいいですね！

【種まき】

- ①プランターに、鉢底石を底が見えなくなるまで入ます。
- ②野菜用培養土を縁から5cmくらい高さを残して入れます。
- ③深さ1cm程度の溝を10cm間隔で2列作りましょう。
- ④種は、約1cm間隔でまきます。
- ⑤まき終わったら土を被せて軽く押さえ、ジョウロでやさしく水やりします。
- ⑥発芽するまでの間は土を乾燥させないように水を与えます。発芽後は、日当たりの良いところに置きましょう。

【間引き】

双葉が3～4枚になったら株間が5cmになるよう間引きしましょう。間引きした株は、食べることが出来ます♪

【追肥】

本葉が4～5枚の頃に、化成肥料をパラパラと少しやります。

【水やり】

発芽した後は、土の表面が乾いたら水をたっぷり与えます。

【収穫】

本葉が5～6枚になり、ラディッシュの直径が2～3cmになって地面から見え始めたら順次収穫していきましょう。

ラディッシュは、ビタミン豊富で美肌作りに最適！消化酵素も含まれていて、胃腸の動きを高めます。サラダや浅漬けにするとおいしくいただけます。葉は緑黄色野菜で、ビタミンや鉄分・βカロチンが豊富です。サラダや炒め物・汁物に最適です。



編集後記

明けましておめでとう
ございます。

さて、新型コロナウイルス感染症終息の見通し
がつかないまま新年を迎え
ました。昨年の農業を
めぐる環境は大変厳しい
状況にありました。中
でも、生産資材の高騰は、
農業基盤に多大なる影響
を及ぼしております。
農業を取り巻く状況
が、少しでも良くなるこ
とを願います。

今年も編集委員一丸
となつて、情報の提供を
行つて参りますので、皆
様のご協力をお願いいた
します。
(後藤)

編集委員長 後藤 義昭

委員 坂本 雄司
委員 三國 実加

編集・発行



相馬市農業委員会
相馬市中村字北町63-3
0244-3712190